

▼ 11月22日
四国ガスから車いす寄附



四国ガス(株)は、創立 100 周年の記念事業として、都市ガスを供給している県内市町に車椅子を寄附しました。松前町には 10 台が寄附され、役場で贈呈式が行われました。贈呈式では、矢野秀俊松山本社長が栗田哲志副町長に目録を手渡し「少しでも地域の人々のために役立ててほしい」と話しました。車椅子は、役場庁舎、文化センターと地区公民館で活用します。

▼ 11月11日
盤を挟んで真剣勝負



恒例の町民囲碁大会は松前総合文化センターで開催され、腕自慢の棋士 28 人が、終日熱戦を繰り広げました。
大会は 2 ブロックに分かれてトーナメント方式で行われ、出場者は盤を挟んで真剣勝負。仲間の対局を見て学ぶ棋士の姿も見られました。
A ブロックでは、河村富夫さんが、B ブロックでは河江照好さんが優勝しました。

▼ 11月8日
おいしいお餅ができたよ



白鶴保育所の園児が、園庭で餅つきに挑戦しました。もち米を蒸す湯気と甘い香りが園庭に広がると、園児たちは小さな体でちょっぴり重いきねを持ち、「よいしょ、よいしょ」のかけ声に合わせて、元気いっぱいお餅つき。ついたお餅にあんこを入れて、お友達と一緒にうれしそうに丸めました。自分で丸めたあんこ餅をほおぼる園児は、満足げな表情を見せていました。

▼ 10月29日
きれいな花を咲かせてね



人権の花贈呈式は、松前幼稚園で行われ、松前町人権擁護委員からジオラなどが贈られました。高石勤委員が「人権とはお友達と仲良くすること、命を大切にすることです。花の命も大切にしてください」とお願いすると、園児たちは「きれいなお花をいっぱい咲かせて、僕たちの笑顔と私たちの心を、和楽園のおじいさん、おばあさんに届けます」と元気に応えました。贈られた花はみんなでプランターに植えました。

▼ 11月23日
珍味の無料配布に長蛇の列



四国珍味商工協同組合は 11 月 23 日(いいつまみ)の「珍味の日」に合わせて、まさき村で珍味を無料配布しました。毎年恒例となっているこの行事。当日は、あいにくの天気にもかかわらず、開始 30 分前から行列ができてはじり、用意された約 450 袋の珍味は 10 分でなくなりました。親子で来ていた渡部直美さんは「お酒のおつまみと、子どもたちのおやつにします」と喜んでいました。

▼ 11月18日
ふれあい豊かな新立文化祭



新立文化祭が新立公民館で開かれました。会場内には、絵画などさまざまな作品が展示され、ステージでは多彩な芸が披露されました。
仲島政夫区長は「今年は、テーマも製作方法も自由として子どもたちから作品を募集しました。親子で作品を作ったり、当日の展示を見に来たり、家族で触れ合う時間が増えるような文化祭にこれからもしていきたい」と話していました。

▼ 11月11日
みきゃん 1 歳おめでとう



犬にちなみ、1(ワン)が並ぶ 11 月 11 日が誕生日の県イメージアップキャラクター「みきゃん」のパーズデーパーティーが、エミフル MASAKI で開かれ、県内のゆるキャラがお祝いに駆け付けました。
当町の「マッキー」「おたたちん」もプレゼントの珍味を持って参加。みんなでみきゃんを祝いました。会場では、ゆるキャラ撮影会、みきゃんとジャンケン大会やグッズ販売も行われました。

▼ 11月2日
自主防災会と防災士が合同研修



地域の防災力を強化しようと、松前町自主防災会連合会と防災士は、合同研修会を開きました。
役場庁舎で開かれた研修会には、関係者ら約 60 人が参加。放射線の専門家の大阪府立大学放射線研究センターの古田雅一教授と、気象の専門家の松山地方気象台の濱田安範調査官を講師に迎え、放射線の人体への影響や、台風や大雨災害に関する知識を深めました。